

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.209)

1. 豊田PCB処理事業部会について

8月11日(水)に令和3年度第1回「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会豊田PCB処理事業部会」を開催しました。

この部会は、4名の学識経験者で構成され、環境省、愛知県及び豊田市からもオブザーバーとしてご出席いただいております。今回は新型コロナウイルス対応の為、WEB会議で開催しました。

当事業所から、令和3年6月末時点におけるPCB廃棄物の処理状況、環境モニタリング状況等についてご報告しました。



保管事業者の皆様から当社に登録いただいた処理物のうち、PCB油を含む変圧器やコンデンサーは97%以上、PCB廃棄物の入っていた保管容器は80%以上の処理を完了しております。

事業所内の労災及び漏洩トラブルもありませんでした。

また、環境モニタリングについても、良好な測定結果であることを報告し、委員の方々からは、当事業所のPCB廃棄物処理が順調に進んでいるとの評価をいただきました。

2. 毎月21日は安全の日

平成19年2月21日から毎月21日を『安全の日』として安全集会や安全パトロールを行っています。

この『安全の日』は、過去の事故やトラブルの教訓や毎日を安全第一で作業する大切さを忘れないために定めました。

現在は、新型コロナウイルスへの対応として朝の安全集会は取りやめ、JESCO所長と運転会社社長の訓示を書面で回覧しています。また、安全パトロールも最小限の人数で行っています。



3. 夜間想定防災訓練を実施しました

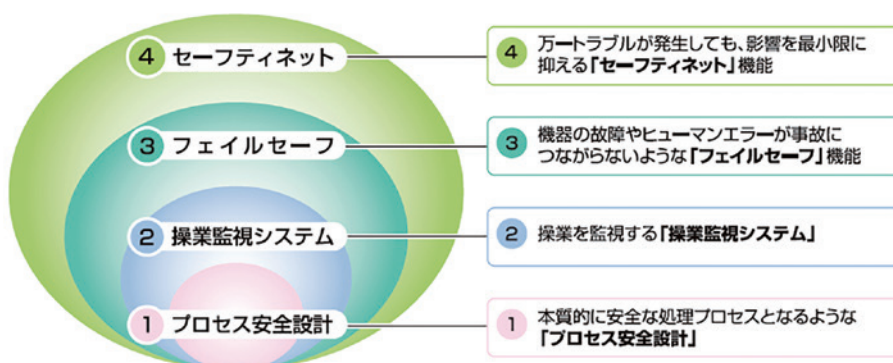
当事業所では、24時間4班3交代の勤務体制をとっている為、夜間の火災発生を想定して、限られた夜勤者で被害を最小限に止めるべく夜間想定防災訓練を実施しました。各班が一回は訓練を行うように、8月に4回の訓練を実施しました。この訓練では、少人数の夜勤者による初期消火活動の行動役割の確認と、消防署への119番通報及び豊田市への緊急通報等の手順を確認しました。

8月25日(水)は、上記の訓練に加え、JESCOと運転会社による避難訓練を実施しました。屋外の避難場所では新型コロナウイルス感染予防として、密集、密接を避ける配慮もしました。今後も訓練を継続することで、常に防災意識を持ち、安全な操業を心掛けていきます。



PCB処理事業紹介シリーズ 第44回

今回は施設における安全設計の考え方と安全対策についてご紹介します。
豊田PCB廃棄物処理施設では、施設外へのPCB漏洩と施設内での火災・爆発のリスクを低下させることを前提に、以下のような多重防護構造を構築しています。



4 万一トラブルが発生しても、影響を最小限に抑える「セーフティネット」機能

3 機器の故障やヒューマンエラーが事故につながらないような「フェイルセーフ」機能

2 操業を監視する「操業監視システム」

1 本質的に安全な処理プロセスとなるような「プロセス安全設計」

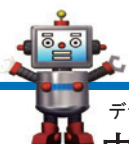
具体的な安全対策

活性炭、負圧管理、防油堤など

機器の二重化、停電等異常時の自動バルブの安全側への開閉

オンラインモニタリング、DCS(コンピューターによる監視)

遮蔽フードの採用、引火性の低い溶剤の採用など



デジ丸

問い合わせ先

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

アザラシのびーちゃん

